

(別表) 評価基準

審査項目	審査の視点	配点
企画内容の新規性・創造性	事業構成や企画内容は適切か。 (チェックポイント) ・事業の意図や目的等を理解し、仕様書及び提案書作成要領に記載している内容から方向性が逸脱していないか。 ・国籍や年齢等に関わらず楽しめる内容となっているか、又参加者が顔の見える関係をつくるための工夫があるか。 ・他の企画にはない効果的・創造的なものがあるか。 ・県のイベントに相応しい品位が感じられ、企画が現実的かつ実現可能なものか。 など	35
実施主体の適格性	体制図から、本業務が遂行可能な人員の確保がなされるとともに、効果的な人員体制であると認められるか。 (チェックポイント) ・人員の確保や体制は十分と思われるか。 など ・円滑な事業遂行管理や関係者間の意思疎通ができる体制か。 など ・開催準備や開催当日において、業務を確実に遂行できる体制にあるか。	25
広報内容の創造性	広報の企画内容は適切か。 (チェックポイント) ・より多くの人々が情報を入手できるような効果的な告知か。 ・幅広い層の関心を引くことができる内容か。 ・他の企画にはない創造的なものがあるか。 など	20
イベントの開催実績	十分な実績を持ち合わせているか。 (チェックポイント) ・過去3年間に県関係機関や民間企業が発注する同種のイベント開催実績があるか。 など	10
経費の妥当性	各種見積金額は妥当か。 (チェックポイント) ・企画提案内容に沿って項目ごとに経費の内訳が詳細かつ明確に記載されているか。 ・内訳の額が不自然に高くないか、社会通念上適切な価格又は安価であるか。 など	10
<b>合計</b>		<b>100</b>

注意：最低基準点は審査員の評点の合計点の6割とする。(100点×4名×60%=240点)